

ありんに便り

2013年
11月28日発行
通巻第16号

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報



「ありの会」へのご意見・ご要望は、〒192-0355 八王子市堀之内 1236-8 社会福祉法人 由木かたくりの会気付「ありんこポスト」までに郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 http://space.geocities.jp/arinko_renraku 》です。

第3回フェスタかたかご が開催されました

11月9日、正午から3回目となるフェスタかたかごが始まりました。ありの会主催の全体親睦会として第1回目をスタートしたフェスタは法人の行事となり、今年は地域住民の方々との交流・親睦を深めるものとして利用者メンバーも積極的に参加するものへと発展して来ました。法人とありの会では7月より4回の実行委員会を開いて準備をし、開催目的を「(1)施設の活動の内容を地域の方に知ってもらうための機会とする。(2)メンバーが主体的にかかわることにより、メンバーのモチベーションを上げる。(3)利用者・家族・地域との相互理解を深める。」としました。



当日は、あまり良い天候ではありませんでしたが12時前から受付に列ができるなど大勢の地域の方々に来ていただく事が出来ました。今回がまた新しいスタートとなり、利用者・家族・職員・地域の方々で楽しい1日が過ごせるように発展して行く事を願います。

ステージでの太鼓の発表、手品ショー



利用者が主体的に関わったレストラン、体験教室など



テントでの販売



レストランはいつ行っても満員の大盛況。

ビーズの体験教室も小さなお子さんがたくさん楽しんでいました。

左の写真が家の生活介護、右がぷらさと工房が出店したものです。



ありの会で出店したバザー（左）と焼きそば、フランク、アルコールドリンクのテントです。

ゲーム、アトラクション



◎ フェスタかたかご会計報告

今回のフェスタでは協賛金として法人に10万円を寄付いたしました。用途としてはフェスタの事業費として使用する事、当日は利用者から給食費をとらない事、会計報告を提示してもらおう事などを条件として合意しております。

ありの会の独自行事の費用は下記の通りです。

支出	雑貨類	4,101	ビール、チューハイ	13,462	釣り用クリップ	315
	焼きそば、フランク	36,582	ビールサーバー	5,040	お茶代	1,000
	釣り用お菓子	11,332	ノンアルコール	1,966		
収入	釣りゲーム	1,070	焼きそば、フランク	19,600	飲料	5,300

25,970 (収入合計) - 73,798 (支出合計) = -47,828円 となりました。

また、バザーの収入は31,440円の売り上げとなり、前年の38,365円と合わせて69,806円となりました。これは利用者のために使用する事となっております。

講演会(定例会)の報告

9月30日 月曜日 13:00より講演会(定例会)が行われました。南大沢市民センターにて30名の会員が参加して行われました。ゆうあいハウスの中村文子講師の、経験を通しての福祉制度の利用の仕方や、福祉の現状を教えて頂きました。ご来場ありがとうございました。



アンケートに寄せられた会員の意見、感想をいくつか紹介します。『総合支援法になって変わるところ変わらないところを整理して話していただき、良くわかりました』、『経験を踏まえての話が多く分かりやすく参考になります。福祉制度は徐々に変わるので年に何回かの講演を望みます』、『これからの学習会では諸先輩方の体験談、例えば障害を持つ兄弟姉妹が結婚して子供をもつときの話などざっくばらんに聞けるといいかと思います。子育て期の親からその後の親子の関係など自分のこれからの参考になる話を期待します』。これらのご意見、ご要望をふまえて講演会、学習会の企画を検討して行きたいと思います。

◎ 11月21日防災協議の進捗報告（法人より1名、ありの会より役員2名が参加）

前回の会議を踏まえ、法人の作成した「社会福祉法人 由木かたくりの会 防災マニュアル(案)」の検討を行いました。利用者個々に対応する必要がある情報は、緊急連絡カードに記載してもらい、カードの参照手順や管理方法を定める事、各事業所ごとに非常持ち出しザックを設置する事、備品にヘルメットを追加する事などを検討しました。今後は次回役員会にて内容の検討を行い当初の予定どおり来年ははじめに完成し、配布する予定です。

防災マニュアルは作成する事よりもそれをいざという時に活用するかが重要となります。それには帰宅・引き渡し訓練を実施する必要があります。法人と協議し来年のなるべく早い時期に実施する事としました。

次回は2014/1/16（木） 13：30～ マニュアルの確定を行います。

— ありの会「オヤジ会」感想 —

またお会いしたいです

10月19日、ありの会主催の「オヤジ会」開催される。南大沢の徳樹庵にて夕6時より。出席者は下記の14名。保護者でも男性ばかりの集まりはかたくりの会でも初めての試みである。この人数を多いと見るか少ないと見るかは評価の分かれよう。

ある人への勧誘電話では、3、4人くらいの集まりに出るのは億劫という。もう10人から集まっていますと言うと、それなら出ますとなった。つまりあまり集まらないのではないかという大方の予想があり、それはこっちの危惧でもあったのだが、それでこの数だからまあまあではなかったかと安堵している。

海老原さんの乾杯の音頭でスタート。飲み放題ではあるが、当初はおとなしい。初対面の人がほとんどなのだから無理もない。私などは奥さんの方は知ってるが、この方がご主人かと感心納得(?)して見たり聞いたりしていた(失礼)。

自己紹介が進み、鍋もできてくるころからかなり賑やかになってくる。自己紹介の内容は、障害の子供を持つ親としてうなずけるもの、考えさせられるものが多かったが、個々に紹介するわけにはいかない。ただ自分のことなら紹介しても構わないか。

——うちの子は30歳の男の子だが、性的な欲求、女の子に対する関心は人並みに高い。しかしうちの子には無理と黙殺してきた。みなさんも大方同様と思われる。いまかたくりのケアホームは地域の反対で思うように進んでいないが、まず1軒目を建て、ゆくゆくは結婚したカップルも住めるようなケアホームを夢見ていると。全国的に見て、手厚くサポートして結婚、同棲を勧めする施設は結構あり、増加している——

こういう問題を、定例会で出そうものならお母さん方の猛烈な反感と顰蹙をかうこと受けあい。男ばかりのある種気安さから話せたかもしれない。「うちの子はそんな」と我々親の世代のモラルから、こうした話は話題にもならないが、世間では性的な事件は加害者にも被害者にもなるケースはかなり多い。マスコミも、よほどの事件でない限り、知的障がい者であることには触れない(たぶん偏見、差別を増長するという配慮か)。

こうしたことを理路整然と述べられわけではない。世話人として会を盛り上げるべく率先して飲んだので、はやくもメロメロとなっていたから。こうした逸脱を常にサポートしてくれるのが備前会長、今回も全体の流れに目配りしフォローされておられた。ただ飲んで自己紹介したばかりでなくちょっぴりお勉強もしました。炭谷さんから「かたくりの会」の現状について、主にケアホーム建設の現状報告と問題点について触れられ、備前さんから「ありの会」について、フェスタかたかごへの参加依頼、私から「再生後援会」について、事業内容のアイデア募集したいと、それぞれ話しました。この後、フリートーク、ようするにおしゃべりとなりました。

1つ、印象深かったのは、野口さんが「ケアホーム建設は、女房の長年の最後の最大の夢であった。それが滞っていることに心を痛めている。これまで長年この問題に関わってきた経緯もあり、何かお手伝いできることがあればと思う」という挨拶をされた。これを受けて、炭谷さんも「よろしくお願いします」と応じられ、お二人の間で話が弾んだのは、正直意外でもありうれしかった。

後日、野口さんの斡旋で、町内会を終えられたばかりの町会3役(町会長、副会長、顧問)と野口、備前、私とで会合。町会の意向をも率直に伺い、うーんと考えさせられるものがあつた。現在、交渉のテー

ブルにも付けない状況を打開すべく、理事長の了解、委嘱される形で、職員も数名加わって交渉の窓口となって折衝中である（微妙な問題でもあり、会員には冷静に見守って欲しく思います）。

またこの後すぐにフェスタかたかごが開催されたが、お父さん方の参加が従来より増えている。また奉仕日の参加も申し出る人もいて、会長を感激させていた。今回初めて知ったが、様々な趣味や特技、経歴を持つお父さん方多い。この力が役立てられたらいいというのが率直な感想。ただ、この会はある目的意識（動員などの）をもとに企画されたものではない。しいて言えば、従来外で仕事されて、子供の問題は、母親に任せてきたお父さん方も、リタイアされるなど時間的に余裕ができて、お母さんばかりの定例会などにはやはり出にくい。そういう男性陣の参加を後押しする、きっかけになればという思いからである（男は繊細である）。この企画は以前に提案したが、「男ばかりの単なる飲み会でしょう」と実現しなかった。私は単なる飲み会でいいと思う。その中からこういうことをやろう、やりたいというものが出てくれば、それはそれで結構なことではあるが、そんな気張らず、単なる飲み会で続けたいと思う。

最後に、この会の感想とお礼のはがきが会長のもとに届いたので、紹介したかったが、私信であるから差出人の了解を得なければならぬ。ところがこれができないのは差出人の名前が記載されていないからである。その誠実で丁寧な書き方から、故意に名前を伏せたのではなく、記名を忘れたものと推察される。それで紹介できないのは誠に残念である。機会があればこうした会をまた設けて欲しいというのが大方の感想であった。なお、ありの会から2万円、かたくりの会から5千円のご援助をいただいた。御礼申し上げます。ただしこれは今回限り、それもよく承知しております。またお会いしたいと思います。

（世話人 小川原健太）



オヤジ会出席者（左より敬称略）

備前、渡部、炭谷、小川原、野口、田上、内田、石坂、小川、鈴木、海老原、小笠原、峰尾、津田

◎ ペーパークイリング教室&茶話会（「フェスタかたかご反省会」）のご案内

11月18日（月）付けでお便りを配布しましたが、12月7日（土）にペーパークイリング教室と茶話会を企画いたしました。年末のお忙しい時期と思いますが、今年最後の茶話会になると思いますのでどうぞ皆様お越しく下さい。参加申し込みの締め切りは過ぎていますが、まだ受け付けていますので役員まで連絡をください。

日時：12月7日（土） ペーパークイリング教室 13：00～

茶話会 14：45頃～

場所：かたくりの家2階

持ち物：ものさし・工作用ボンド・あれば先の細いピンセット

参加費：100円（当日徴収します）

★ペーパークイリングは、細いテープ状の紙をクルクル巻いて作る誰にでもできる簡単なペーパークラフトです。

知樹と水泳「全国障害者スポーツ大会に参加して」

(かたくりの家ベーカーリーの小川知樹さんが国体の後に行われるスポーツ大会に参加しました。お母様の投稿です)

知樹は、10月12日～14日、東京都で開催された、「全国障害者スポーツ大会」に東京都代表水泳選手(知的障害21名)として参加し、4泊5日の合宿生活と大会出場などの、本当に貴重な体験をさせていただきました。

25㍓と50㍓のバタフライに出場し、残念ながら、メダルの獲得はできませんでしたが、しっかり力強く、自己ベストのタイムで泳ぐことができました。スタート台に立つ姿は、アスリートそのもので、我が子ながら、よくここまで成長してくれたなあなんて、思わず涙が…

25㍓をクロールで泳げるようになってくれたらとか、喘息の予防にもよいのかななんて軽い気持ちで小学校2年の秋に始めた水泳。案の定、運動音痴の知樹は、まわりの子はどんどん泳げるようになるのをよそに、マイペースでなかなか泳げるようにならず、ようやく念願の25㍓クロールが泳げるようになったのは3年後でした。15年がすぎ、当時はプヨプヨだった体が引き締まり、1kmも2kmも泳ぎ続けられる泳力も身につき、4泳法が泳げるようになり、プールでは、まるで別人、水を得た魚?のような感じでスイスイ泳いでいます。ここ3年は、週に5日以上は泳いでいるおかげで、嬉しいことに、泳力がアップし、全国各地で開催される大会にも出場が認められ、もちろん自費ではありますが、名古屋、大阪、神戸、にも行ってきました。来年は千葉、静岡、長崎と予定があります。目的は水泳、しかし、各地に出かけられるのは目下の私の楽しみです。水泳のおかげで、健康に恵まれ、少しは粘り強さや、苦しくても頑張れるようになり、私は日本各地に旅行に行くことができ、うれしい限りです。

15年間、指導して下さった先生方、一緒ががんばってきた仲間、そして、いつも応援して下さる保護者のみなさんに、感謝の気持ちを忘れずに、これからも親子ともに、がんばっていきたいと思います。

文・小川知樹・母





かたくり製品の販売・配達先のご紹介

今回は10月1日にオープンした「ぶらさ. de. かたくり フォレスト」をご紹介します。フォレストは西八王子駅近くの台町4-33-13にある小児・障害メディカルセンター（以前の東京都立八王子小児病院跡）の中にあります。

センターはすべて予約制となっていますので、静かで落ち着いた雰囲気です。中廊下を歩いて行くと、こじんまりとした明るくきれいなフォレストの店舗があります。



店舗は職員1名、利用者2名（月、木は職員2名）の体制で運営されており、コンセプトとして「森をイメージした暖かい売店」をめざしているとの事で、これまでの病院の売店とは大きく異なります。1日に20名ほどの来客で、5,000~7,000円の売り上げがあり、シホンケーキの売れ行きがとて良いとの事です。利用者の方も「フォレストでの販売はとて楽しい」とニコニコ顔で答えてくれました。



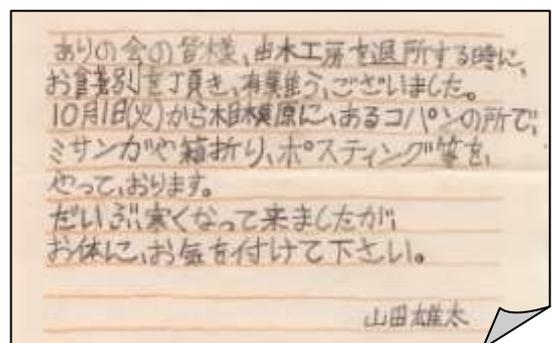
お知らせ

◎ 新入会者のご紹介

Y M さん（かたくりの家就労継続B型ベーカリー） 平成25年11月1日入会
K J さん（かたくりの家就労継続B型ベーカリー） 平成25年11月18日入会

◎ 退会者

Y Y さん（由木工房）平成25年9月30日退会
Yさんがフェスタかたかごに来てくれました。右のお手紙を頂きました。



◎ 新入職員のご紹介

檜島 兼治	（かたくりの家就労継続B型）	9月16日付け採用
福島 和代	（かたくりの家レストラン）	9月16日付け採用
佐久間 寛子	（ぶらさ・de・かたくりフォレスト）	10月1日付け採用
粕谷 正広	（ぶらさ・de・かたくり）	10月1日付け採用
山本 潔美	（かたくりの家 就労継続B型 ベーカリー）	12月1日付け採用（佐藤さんの産休代替）

◎ 異動

福田 多恵子 (かたくりの家ベーカリー) 10月1日付けぶらさ・d e・かたくりフォレストに転属

◎ 産休の予定

佐藤 慶 (かたくりの家 就労継続B型 ベーカリー) 12月6日より産休 (最終勤務は12月2日)

◎ お悔み

10月18日 かたくりの家生活介護の大柄晶明さんのお母様が亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

11月15日 かたくりの家レストラン非常勤の高瀬さんのお父さまが亡くなりました。

◎ アイディアとご意見をお寄せ下さい

ありの会では設立当初より「奉仕日」と言う活動を提案し、かたくりの会のために何かする事がないか検討・調整を続けて来ましたが、なかなか良い課題を見つけられませんでした。先日「オヤジの会」が活動を始め、フェスタかたかごでも会場設営、焼きそば調理、ビールサーバの担当と男性軍のパワーを遺憾なく発揮しておりました。この事もあってか、法人からも依頼がきております。「決して無理をする事無く検討して下さい」との事です。

検討案件はかたくりの家の正面玄関から右側のログハウスへ行く小道の柵を整備する事です。現状は右写真のように丸太で作ってありますが老朽化して少し危ないと都の監査でも指摘されているとの事です。

工事、進行の全体に関しては「ありの会、役員会」で責任を持ちますし、オヤジの会にも参加をお願いしたいと思います。しかし、どのように作るかの企画や、作業指導・段取りなどの指示や指導の出来る方の助言をお願いしたいと思います。12月6日までにありんこポストか役員の方へご連絡ください。



素人のDIYでやれそうなものを少し調べました。



左はガーデンフェンスというもので、700円程度と安価で簡単に施工できますが耐久性がありません。数年おきに整備するという事でも良いかも知れません。

右の2つはガーデンエースというブロックで300円程度で耐久性があります。直径30mmの杭か、塩ビパイプを地面に打ち込みそれに差し込むように並べてゆけば比較的簡単に施工出来るのではと思います。

これ以外に良い方法をご存知の方、是非お知恵をお貸し下さい。

ログハウスの完成まで(5)

都に審査会を開くよう要請文書を提出する。その回答が出る時期をみはらかって多摩建築指導課に赴くと、なんとその文書が担当者の書類箱にそのまま置かれていた。スケジュール的に大変な時間のロスである。担当者ののりくりした態度に、「死んだらあんたに化けて出てやる」と叫んでしまった(前号まで)。

その後、都・福祉局に出向き、かたくりの窮状を訴え、この現状を打破できるよう一筆したためて欲しいと願い出る。さすがに福祉局は多摩地区における施設の必要性はよく理解していた。福祉局からの文書は私たちが目にする事はなかったが、直接多摩建築指導課に行ったようで、これが一番効いた。後日、福祉局の係長からこんな事例は福祉局始めて以来だと苦笑されていた。

そんなこんなで、やっと審査会が開かれることが決まった。そこで審査会に提出する書類を作製しなければならない。「えー、こんな」とたじろくほどの分厚い書類を14部(審査員の数?)。×切まで1週間しかなかった。設計士の森川さんが何回か徹夜したり、家族総動員で取り組んだらしいが、それでも、間に合いそうもないから手伝ってくれと電話がくる。それで駆けつけて図面上の色塗りなど手伝う。色塗りとは、図面上の市街化区域、調整区域、山、丘陵、畑などの区分が分かりやすいように色塗りする作業。また大小さまざまなサイズの紙を折ったり綴じ込んで整えたりする単純作業だが、なにしろ大量なのでかなりの時間がかかった。会社勤めの時間を遣り繰りして何度も駆けつけてくれた人もいた。一筋の光明を見つけ、これにすがる思いで無我夢中だった。そうやってぎりぎり間に合わせた。

都の審査会というのは、都の広報であらためて見ると、正式には東京都建築審査会といい、「建築指導事務の公正な運営を図るため、建築基準法の第78条第1項の規定に基づき、知事の附属機関として設置される。建築物の許可に対する同意のほか、特定行政庁や建築主事等の処分又はこれに係る不作為に不服がある場合に提起する審査請求に対する裁決、知事の諮問事項の調査審議及び関係行政機関への建議を行う」となっている。私たちのケースは「建築物の許可にたいする同意」に当たろう。都の審査会には、この他にも、情報公開、公害審査会などいくつかあるが、どれも細かい審査会条例があって審査会委員、専門調査員の数、氏名などが公表され、公開を原則としているので傍聴できる。ただし、「公開を不適切と認めたときは、この限りではない」とか「傍聴人の数を制限できる」などとある。私たちの公聴会は、いつ、どこで開かれるのかなどまったく知らされなかった。よほど「公開を不適切」とみなされたのであろうか。建設審査会はほとんどが市街化区域内の建築物につき審査される。私たちの場合、調整区域の申請であったから慎重で難しかったのは容易に想像がつく。都で調整区域に私たちのような施設を認可した前例はないし、これを認めれば、他にも要望の多い他の施設の申請をどうするか。法の精神の根幹に関わる問題だからであろう。

いま思うに、この審査会を傍聴できなくてよかったかもしれない。認可されなかったら「死んだら化けてでてやる」などまた大声で叫びかねない。いくらなんでもそこまではしなかったろうと思うものの、その場の状況、雰囲気によってはちょっと自制できなかったかもしれないなどと思うから。

それでただただ待つしかなかった。いつ、どこで審査会が開かれるのかさえ分からないのだから、いつ返事がくるかも見当がつかない。絶対通る、通さずにおくものかという強がり、いやもしかしてという疑念がこもこも交差して居ても立ってもいられなかった。これは八王子の公聴会で、地元の反対者が1人でも出れば認可されなくなるので、毎日まいにち見回りでもするように土地(いまのログハウスのある)を見に行っただけの気持ちに似ていた。それ以上か、返事を待ってうかつに出歩けないで、ひたすら待つだけの時間の長いこと、ながいこと……。

平成2年10月4日、夕方、都から電話、審査が通ったという。2、3事務的な連絡のメモを取るのも上の空、最後に「ありがとうございました」と電話をきったあと、水を飲もうと台所に立ったような気がするが、地に足が着いてない感じでふらふらとただあたりを歩き回っただけかもしれない。気がついて、鈴木昇さんや藤谷先生、会員に電話をかけまくったのであった。

翌日、八王子市の福祉課に審査会の結果報告と御礼にうかがう。増島課長、照井係長、鮫島さんや職員がわがことのように



に喜んでくださった。照井係長は「借家、アパート等を借りてのスタートと違い、かたくりの会は困難を乗り越えてよくやっ
と、みんな評価している」と話され、胸が熱くなった。

その後の経過については、添付した 10 月 7 日付けの「定例会報告」を見ていただきたい。出席者が 8 名など現在とは桁
違い。さっそくかたくりお得意の手作り宴会を開いたなど当時の会の雰囲気伝わっているのではないかな。なお寺芝会館の宴会
では、私の挨拶のあと、鈴木昇さんが「夢がかなったのだからだるまに目を入れよう」大きなだるまを抱きかかえてきた。
そのことを知らされてなかった私は、そのやさしい気持ちに感激し、鈴木さんとみんなの前で目を入れるときは涙がこぼれ
てしょうがなかった。

10 月末、都への建設補助金(緊急整備費)900 万円の申請書類を提出。補助金は 900 万~2300 万円までであるが、みんな
で何度も話し合っ、最初は小さな建物からスタートして、時間をかけて徐々に大きくしていこうということで 900 万円とした。
この建設工事内訳書がある人が見つけて持ってきてくれる。架設工事(30 万)、基礎(60 万)、木工事(450 万)、屋根(60 万)、
建具(30 万)、タイル(20 万)、雑(50 万)、給排水衛生(100 万)、電気設備(30 万)、塗装(20 万)、諸経費(50 万)、消費税別
途となっている。困ったのは、補助金を充てられない部分。畑だった土地は土木業者による地固めからしなければならず、
土地の測量代、設計代、土木代、備品代などは自己資金で賄わなければならない。その額はおよそ 400~500 万円。こ
れまであらゆる機会をとらえて資金作りに奔走してきたが、どう計算しても足らなかった。これをどうするか何回も話し合っ
た。「定例会報告」に記載された企業の寄付金を募るとか、バーベキューのたれ作り、公園の花壇作りでは、雨が降っても
やるなどと書かれているのに当時がしのばれてほろっとしてしまった。

この頃、公認会計士の深谷誠さんが会計を担当。奥さんもかたくりの職員として関わっていたが、深谷さんが、三多摩地区
で施設建設をした団体、作業所の自己資金の調達をどうしたかを調べるために奔走した。小平市のある法人は、債権方式
で資金を調達したが、何年も経っているがまだ完済できずにいるという。この債権方式でという意見もあったが、会員全員
で頭割りにして、何年か後に余裕ができたなら返済することに決まった。一人当たり 8 万円になったのは、これまでの貯金と、
その後、バザーに力を入れて結構かせげたからである。バザーは家族単位の参加で 1 日 17 万~18 万円を売ったときもあ
り、2 年~3 年で全員に返済できたのであった。(つづく)

10月定例会報告 1991.10.7(日)
出席者(定) 梅野 備前 早乙女
馬場 淳太 江波 邦子

・建設について
1%の都審査会へ建設許可の決定
↓
佐島建材(所在地新沢町)で道路とU字溝の見積
↓
2週間程で土木工事完了
終了後10月末に都の確認を得る
↓
建築確認申請
↓
市建築指導課へ提出
↓
予定は2週間後に建物着工のOKが出る(11月)
↓
地鎮祭(12月8日)
↓
施設建設(2月末・3月に完成)

・10月末から11月にかけ都へ建築資金(緊急整備費)
¥9,000,000の申請書提出
・建設費について [建物 9,000,000以上予定
道路他 200万(企業200万)予定]

・工事の記録について
建設日誌をつくる ~ 早乙女 邦子
写真班 ~ 定馬 淳太 梅野 備前
マスコット班 ~ 佐藤 仁子

・鈴木さんと相談の件
参考 寺芝会館 12月10日に22
352-477...子

・今後積極的に会費に1000円~1500円を
安全作業の費用はバーベキューの手作り
150 10月20日(金) 梅野先生指導
U字溝は2週間以内に完成
公園の花壇作りは件
1%以降の花壇の手作り
経費 29,000円(バーベキュー)

※1%以降の花壇の手作りは
親の参加が難しいです

・都の審査会での申し込みは10/26(土) 会員と指導員の
参加は633人です。10/27(日)到着しては承
時間と鈴木さんと相談の件で予定が変更
10/26(土) 午後7時~ 19
寺芝会館

26日の活動中(5時)に親の集まりを
作ると予定(12月)です
(詳細は後日連絡)